

八潮市立八幡^{やわた}小学校

歴史体験



第6学年

特色

- 埼玉県埋蔵文化調査事業団の講師の先生による「古代から教室へのメッセージ」事業を、第6年生を対象に実施した。
- 講義では、縄文時代、弥生時代、古墳時代それぞれの土器の特徴について本物の土器に実際に触れながら考えた。体験学習では、黒曜石で紙を切る、石皿でドングリの実をすりつぶす、火おこしなどの体験を行った。

児童の感想

- 古代から教室へのメッセージで心に残ったことが2つある。1つ目は土器に触れた事である。昔の人がこのようにして使っていたのかなと考えながら土器に触った。2つ目は、火おこし体験である。友達と協力してチャレンジしたが、難しくて火をつけることはできなかった。昔の人の生活は今と違って辛いことが沢山あるということが分かった。きっとこれから一生できない体験ができたので良かった。今度、古代のことを展示している博物館にも行ってみたい。

成果

- 6年生社会科で学習している内容について実際に専門の方の話を聞き、本物を手で触れることや体験学習などを通して既習内容のさらなる定着、次の学習への意欲の向上につながった。